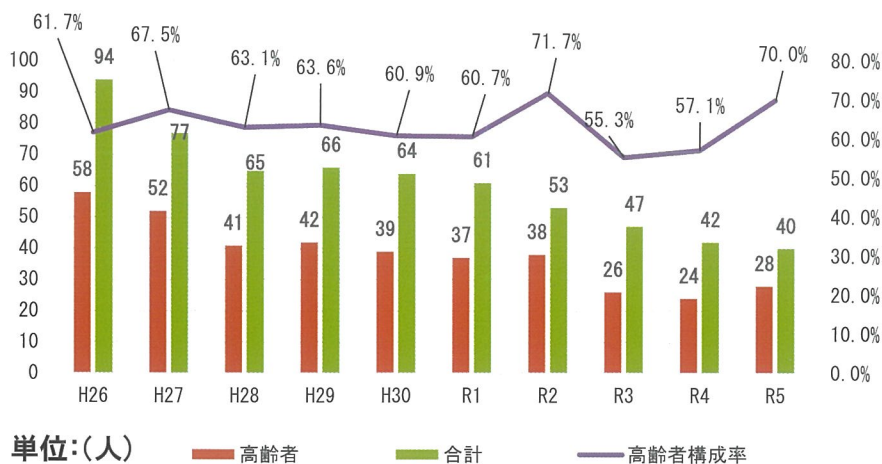


令和6年高齢者交通安全指導のポイント

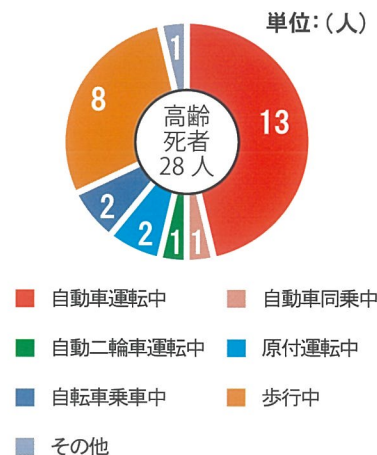
このパンフレットは、高齢者の交通事故状況や高齢者の特性を踏まえ、交通安全指導のポイントをまとめたものです。高齢者に対する一口アドバイスや交通安全指導を行う際の参考としていただきますようお願いします。

高齢者事故の現状(令和5年中)

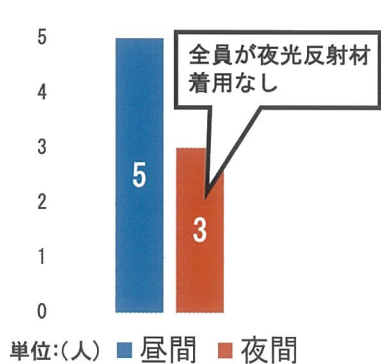
交通事故死者に占める高齢者の割合の推移 (H26年～R5年)



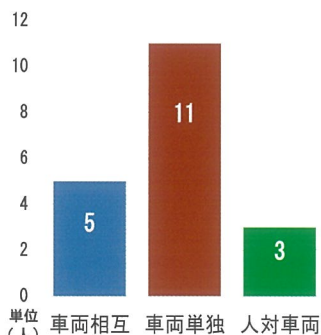
高齢死者の状態別内訳



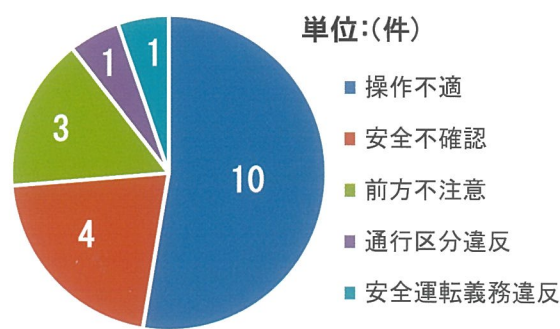
高齢歩行者の昼夜別死者数



事故類型別高齢死者数 (高齢運転者原付以上1当)



高齢運転者違反別死亡事故件数 (高齢運転者原付以上1当)



特徴

- 交通事故死者数は減少傾向にあるが、全交通事故死者数に占める**高齢者の割合は70%**と高水準(平成15年から21年連続で全死者の過半数を高齢者が占める。)
- 夜間歩行中死者**全員が夜光反射材非着用**
- 事故類型別では、**車両単独事故が半数以上**を占める。
- 高齢運転者第1当による交通死亡事故は、**ハンドル・ブレーキ操作不適が大半**を占める。
※第1当事者：交通事故の当事者間に過失(違反)の軽重差がある場合は、重い方の当事者をいう。当事者の過失(違反)の程度が同程度の場合は、損傷の軽い方の当事者をいう。

これらの特徴を踏まえて、次のページからのポイントに沿って指導をお願いします。



鹿児島県警察

